

2014年9月26日

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

損保ジャパン日本興亜ホールディングスがDJSI構成銘柄に選定

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社（社長：櫻田 謙悟、以下「損保ジャパン日本興亜ホールディングス」）は、2014年9月11日に世界の代表的な社会的責任投資指数（SRIインデックス）である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（以下「DJSI」）」のDJSI WorldおよびDJSI Asia Pacificの構成銘柄に選定されました。

DJSI Worldには当社子会社である損害保険ジャパン日本興亜株式会社から通算すると15年連続の選定となり、損保ジャパン日本興亜ホールディングスは設立以来5年連続の選定となります。

1. DJSIの概要

DJSIは、スイスの投資運用およびアドバイス会社であるRobecoSAM社が米国のダウ・ジョーンズ社と共同で1999年に開発した株式指数で、投資信託会社等がSRIファンドなどを設定する際のベンチマークとして幅広く利用されています。RobecoSAM社は、企業のサステナビリティ（持続可能性）を「経済・環境・社会」の側面から評価し、総合的かつ先進的な取組みを行っている企業の株式を、長期的にわたり持続的な成長が期待されるDJSI銘柄（World/ Europe/Emerging Markets/ North America/Asia Pacific/Korea/Australia）として選定しています。

2. 選定理由

今年度の損保ジャパン日本興亜ホールディングスの組入れは、リスクマネジメントや環境マネジメントシステム、金融機能を活かした社会的課題への取組みなどにおいて、高く評価されたものです。DJSI Worldでは、全世界の大企業約2,500社から319社（日系企業21社）が、またDJSI Asia Pacificでは、アジア太平洋地域の大企業約600社から148社が構成銘柄として選定されました。

3. 今後に向けて

損保ジャパン日本興亜グループは、お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、レジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上